

●村川家文書45

45―0

(包紙)

御納戸御役所より戻り證文写

頭功寺銀御頼ニ付引請候返り扨写

塩口錢御預り中差引目録写

村川家文書 45―1

(端裏書)

「小林新兵衛様御自筆返り扨写」

返扨之覚

一 銀札式貫三百八拾目  
御印 御印 御印

右<sup>者</sup>頭功寺より借り銀其元より返弁  
相濟候ニ付已後聊無之候、此手形を以  
頭功寺<sup>江</sup>借り請證文御入可給候、右  
為念返扨仍<sup>而</sup>如件

築瀬平之進

御印

寛政十年午四月日

山内右平太

御印

村川市兵衛殿

村川家文書 45―2

(端裏書)

「塩口錢御預り中差引

御目録写

小林新兵衛様

御直筆

「

丑八月十九日より預り

一 六貫三百四拾三匁四分六厘  
内

三貫貳百目  
御納戸年賦入残り  
四ヶ年分

貳百目  
御納戸御貸  
但辰正月より午三月迄  
閏共廿八ヶ月分月壹歩半  
ニシテ

此利八拾四匁  
ズ貳百八拾四匁

貳貫三百八拾目  
顯功寺銀引負

ズ五貫八百六拾四匁

三百九拾目  
築瀬より取替  
元利

惣合  
六貫貳百五拾四匁  
差引残<sub>而</sub>

八拾九匁四分六厘  
百目 相渡ス

右之通算用相済過札  
相渡し申候、以上

山内右平太  
四月八日

